

マーケットの動き（2022年1月11日～1月14日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。3連休明けの国内債券市場は、不安定な相場展開が続くなか押し目買いが入り徐々に持ち直す展開となりましたが、翌週に日銀の金融政策決定会合を控え、政策修正に関する観測記事が材料視され、週末にかけて金利が上昇しました。クレジット市場は、投資家の利回り確保ニーズが需要を下支えしました。

投資環境見通し（2022年1月）

国内長期金利は比較的狭いレンジ内での動き

新型コロナウイルス「オミクロン型」の感染拡大が警戒される中、インフレ率が緩やかな上昇基調にとどまることから、日銀は現行の緩和的な金融政策を継続するとみられます。国内長期金利は当面、比較的狭いレンジ内での動きになるとみています。

	1月14日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	0.15	0.03	0.10	0.13	0.12
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	385.15	▲0.12%	▲0.70%	▲0.83%	▲0.49%

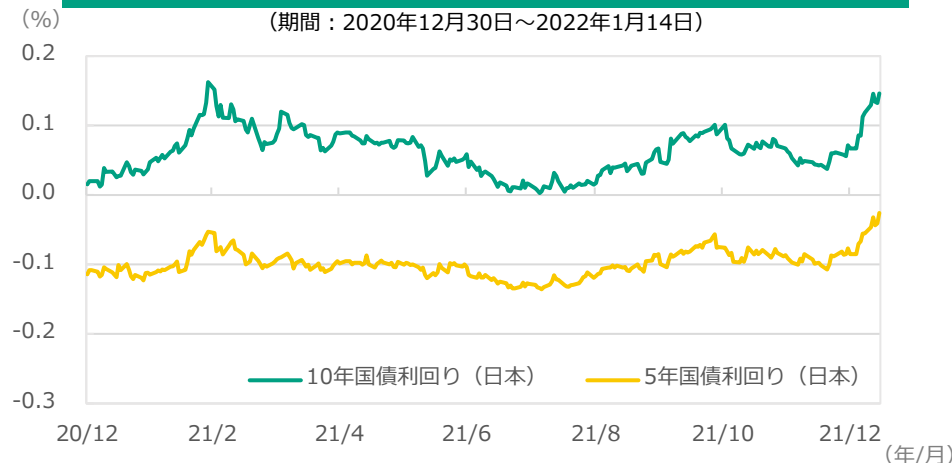
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202201_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日本国債利回りの推移



NOMURA-BPI総合指数の推移

